

2026年3月期 第1四半期
1Q FY2025

決算概要



2025年8月7日

日揮ホールディングス株式会社

目次

- 2026年3月期 第1四半期 実績
- 2026年3月期 予想
- 参考資料



2026年3月期 第1四半期 実績



Enhancing planetary health

ハイライト

- 複数の海外大型案件が年度内完成に向けて着実に進行中
カナダLNGプロジェクトでは第1系列からのLNG初出荷を達成
- 業績は通期予想に沿って進捗
- 受注はFEED等先行業務が活発

連結損益計算書

【億円】

	1Q FY2024	1Q FY2025	前年同期比	
売上高	2,041	1,898	△ 143	△ 7%
売上総利益	155	154	△ 1	△ 1%
利益率	7.6%	8.1%	+0.5pt	
営業利益	81	78	△ 2	△ 3%
経常利益	176	92	△ 84	△ 48%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	123	56	△ 67	△ 55%
1株当たり 四半期純利益	51.28円	23.17円		

セグメント情報

【億円】

		1Q FY2024	1Q FY2025	前年同期比	
総合エンジニアリング	売上高	1,882	1,741	△ 140	△ 7%
	セグメント利益	75	74	△ 1	△ 2%
	利益率	4.0%	4.3%	+0.3pt	
機能材製造	売上高	149	145	△ 4	△ 3%
	セグメント利益	24	18	△ 5	△ 23%
	利益率	16.0%	12.6%	△ 3.4pt	
その他	売上高	9	11	+1	+17%
	セグメント利益	3	2	△ 0	△ 23%
	利益率	32.8%	21.4%	△ 11.4pt	
調整額	セグメント利益	△ 21	△ 16	+5	-

セグメント情報

マーケット環境

・総合エンジニアリング事業

- ・ 天然ガス（LNG含む）関連を中心に顧客の設備投資計画は多数進行中。
- ・ 一方で、サステナブル分野はスローダウン。
- ・ 顧客の投資決定に向けた検討期間は長期化。

・機能材製造事業

- ・ 海外では石油精製触媒の需要が堅調。
- ・ ファインケミカル分野は、ハードディスクや液晶ディスプレイ関連の研磨剤、機能性塗料の需要回復傾向が続く。
- ・ ファインセラミックス分野は、生成AI関連市場の拡大を背景とした半導体製造装置用部材やEV関連市場における高熱伝導窒化ケイ素基板の需要が堅調。

セグメント情報

受注の状況（総合エンジニアリング事業）

i）受注高

【億円】

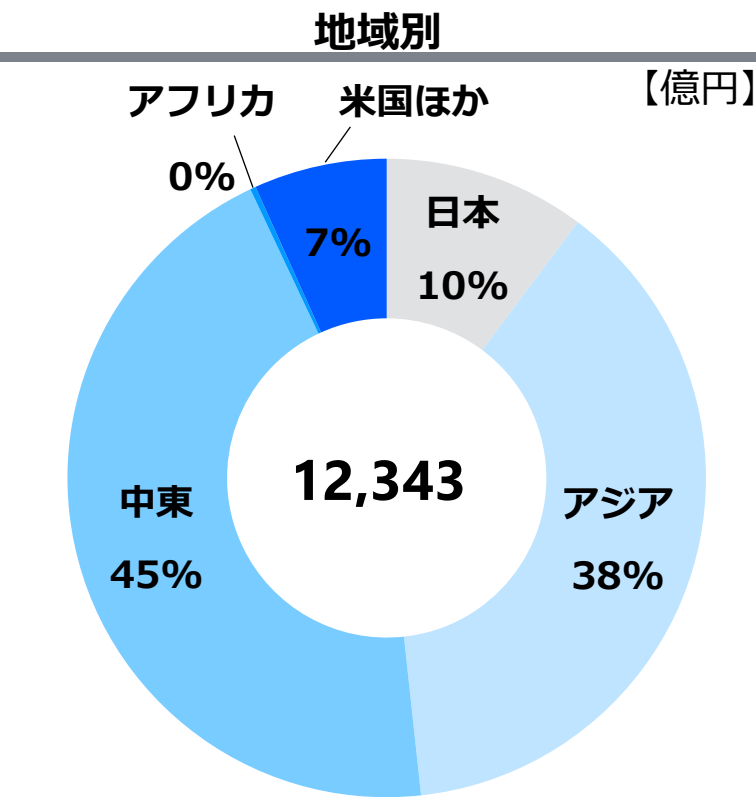
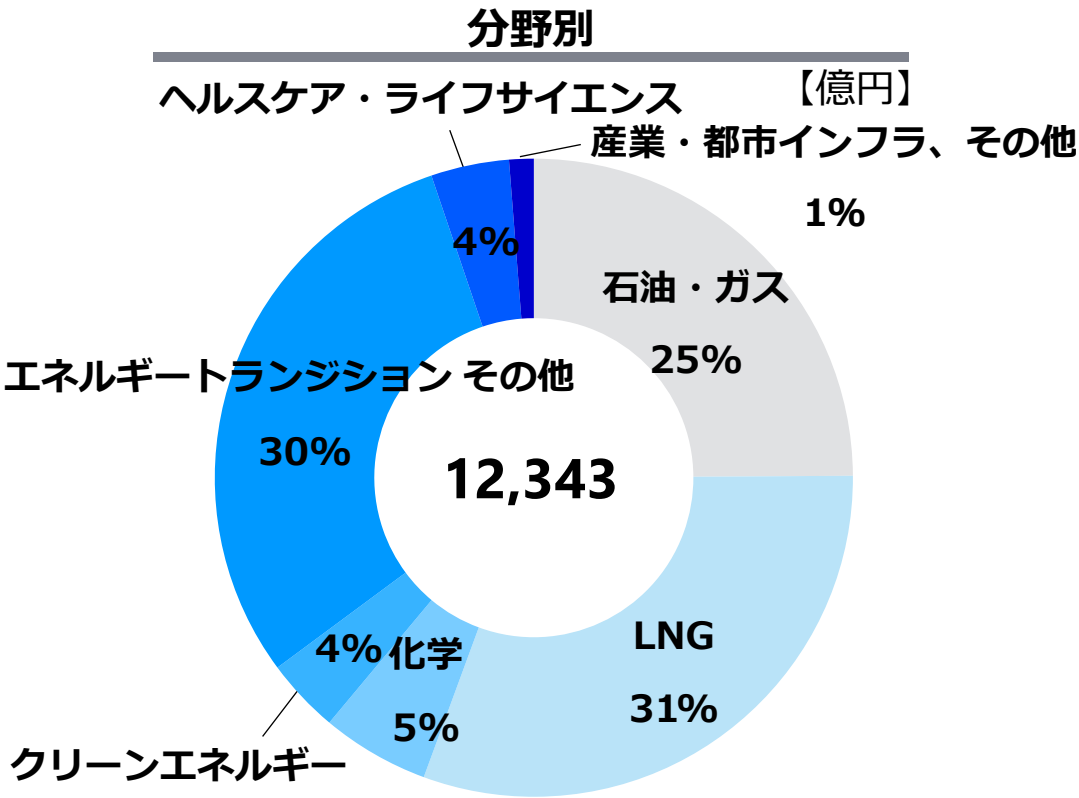
	1Q FY2024	1Q FY2025
海外	2,650	179
国内	231	294
合計	2,882	474

1Q FY2025
主要受注案件

ロケット試験・燃料設備（日本）

セグメント情報

ii) 受注残高 (2025年6月末)



受注残高 主要案件	1,000億円以上	500億円以上
	大型EGR/CCUS陸上設備 (インドネシア) 大型低炭素LNGプラント (UAE) 原油・ガス分離設備 (サウジアラビア) 製油所近代化 (イラク)	ニアショアFLNGプラント (マレーシア) 大型エチレン製造プラント(米国)

連結財政状態

【億円】

	2025年3月末	2025年6月末	増減
流動資産	5,612	5,231	△ 381
固定資産	2,229	2,155	△ 73
総資産	7,841	7,386	△ 455
流動負債	3,469	3,169	△ 299
固定負債	449	404	△ 45
純資産	3,922	3,812	△ 109
自己資本比率	49.8%	51.4%	+1.6pt
JVキャッシュ 当社持分	935	809	△ 126

2026年3月期 予想



Enhancing planetary health

2026年3月期の業績見通し

通期業績予想に変更はありません。

【億円】

	FY2025 予想	1Q FY2025 実績	進捗率
受注高(※)	6,500	474	7%
売上高	6,900	1,898	28%
売上総利益	520	154	30%
利益率	7.5%	8.1%	
営業利益	210	78	37%
経常利益	220	92	42%
親会社株主に帰属する当期純利益	150	56	37%
1株当たり配当金	40.00円		
換算レート(米ドル)	140.00円		

(※) 総合エンジニアリング事業

参考資料

参考（2026年3月期 セグメント別 業績見通し）

セグメント別通期業績予想に変更はありません。

【億円】

		FY2025 予想	1Q FY2025 実績	進捗率
総合エンジニアリング	売上高	6,280	1,741	28%
	セグメント利益	200	74	37%
	利益率	3.2%	4.3%	
機能材製造	売上高	540	145	27%
	セグメント利益	70	18	26%
	利益率	13.0%	12.6%	
その他	売上高	80	11	14%
	セグメント利益	20	2	10%
	利益率	25.0%	21.4%	
調整額	セグメント利益	△ 80	△ 16	-

参考（地域別受注高、売上高、受注残高）

【億円】

	1Q FY2025 受注高		1Q FY2025 売上高		2025年6月末 受注残高	
日本	439 (294)	65.8% (62.2%)	463 (352)	24.4% (20.2%)	1,365 (1,261)	10.9% (10.2%)
アジア	57 (34)	8.6% (7.3%)	300 (278)	15.8% (16.0%)	4,707 (4,698)	37.8% (38.1%)
中東	9 (0)	1.5% (0.0%)	573 (564)	30.2% (32.4%)	5,516 (5,516)	44.3% (44.7%)
アフリカ	109 (109)	16.4% (23.1%)	128 (128)	6.8% (7.4%)	35 (35)	0.3% (0.3%)
米州ほか	50 (34)	7.7% (7.4%)	432 (417)	22.8% (24.0%)	836 (832)	6.7% (6.7%)
合計	667 (474)	100.0% (100.0%)	1,898 (1,741)	100.0% (100.0%)	12,461 (12,343)	100.0% (100.0%)

※ 括弧内は総合エンジニアリング事業のみの数字を表しています

参考（1Qまでの主な取り組み – 総合エンジニアリング事業）

受注目標（6,500億円）達成に向けて注力

海外

- トランジションエネルギー関連分野において、LNGプラント（新・増設）のEPC役務やFEED役務の受注に向けて、鋭意営業活動に注力。
- 遂行中プロジェクトにおいては、LNG カナダプロジェクトにおいて第1系列からのLNG初出荷を達成。引き続き残りの建設工事に注力。
- 成長市場である先端技術産業分野において、Exyteシンガポール社との協業を軸に、東南アジアを中心に積極的な営業活動を展開。

国内

- 民間ロケット試験・燃料設備等のEPCプロジェクトを受注したほか、その他分野のFEED契約を受注。
- ライフサイエンス、食品関連、製油所改修案件などでの受注を目指し、引き続き営業活動に注力。

<低・脱炭素化や循環型社会の実現に向けた取り組み>

- SAF事業において、2025年4月から主要エアラインや主要空港に対して国産SAFの供給を開始。廃食用油回収からSAF製造、航空機への供給までの「SAFサプライチェーン」を実現。
- インドネシアにおける廃プラスチックの油化ケミカルリサイクル実現に向けた事業化検討契約を締結。
- 大規模アンモニア分解による水素製造の技術開発に向け、米国アモジー社と同社の触媒活用に関する基本合意を締結。同技術の開発の加速と水素製造コスト低減を目指す。
- 神奈川県でフィルム型カルコパイライト太陽電池※を用いた発電の実証試験を実施。

※薄膜太陽電池の一種で、無機化合物半導体系の太陽電池

参考（1Qまでの主な取り組み – 機能材製造事業）

触媒・ファインケミカル分野

- 触媒分野は、水素化分解触媒の受注減により減収。燃料需要の増加などを背景にFCC触媒を中心に海外マーケットは堅調。海外拡販による上積みを目指す。
- ファインケミカル分野は、電子材やハードディスク市場の回復により、フラットパネルディスプレイ向け反射防止材やハードディスク向け研磨材などの製品需要も引き続き増加傾向。半導体関連材や化粧品材は、顧客の生産調整・在庫調整によって販売が一時的に減少。
- 昨年度取得した北九州および新潟事業所の新規事業用地における設備投資計画を策定中。合成燃料用触媒及びケミカルリサイクル用触媒・吸着材のほか、高速通信用材料や半導体用機能性研磨粒子などの新規ファインケミカル製品の生産拡大を目指す。

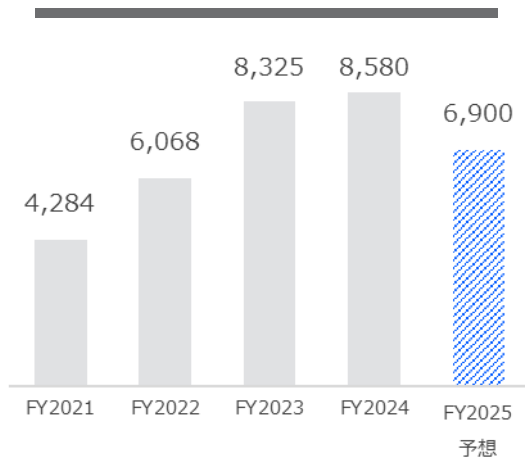
ファインセラミックス分野

- 半導体市場は生成AI向けを中心に回復に向かい、データセンター向けの半導体メモリーや薄膜回路基板の需要が増加傾向。半導体製造装置部品の需要も堅調に推移し、新規受注も増加傾向。
- 中国市場向けEV用高熱伝導窒化ケイ素基板の需要は堅調。高熱伝導窒化ケイ素基板の増産などに向けて、宮城県内で建設していた新工場が完成。今年度下期から本格操業開始を予定。

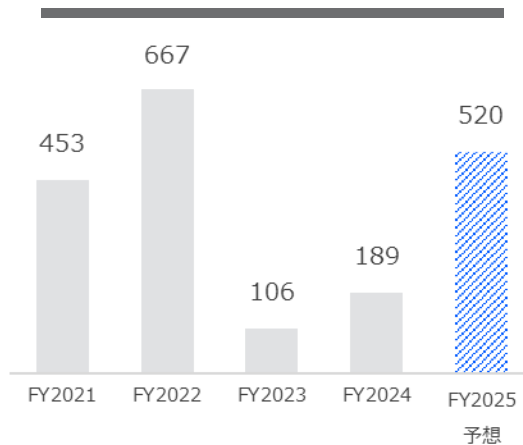
参考（業績推移）

【億円】

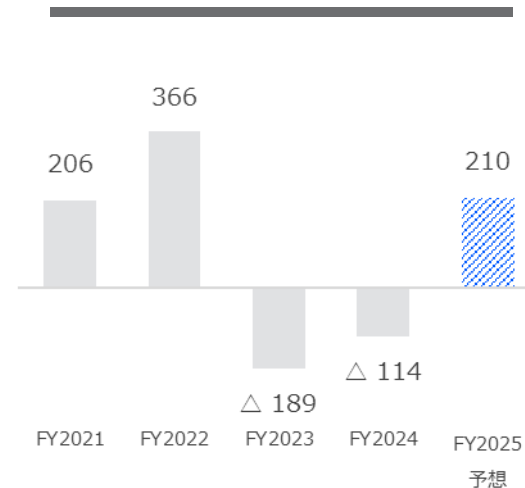
売上高



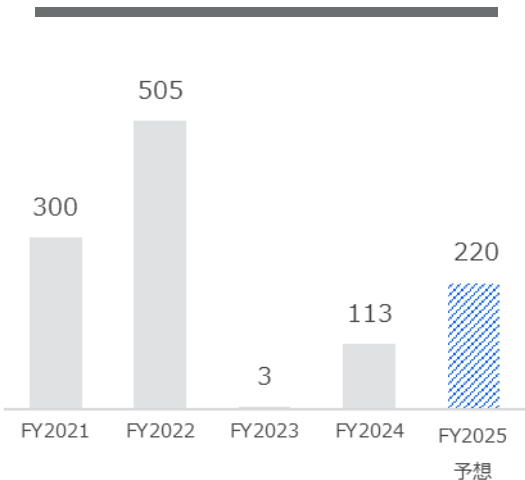
売上総利益



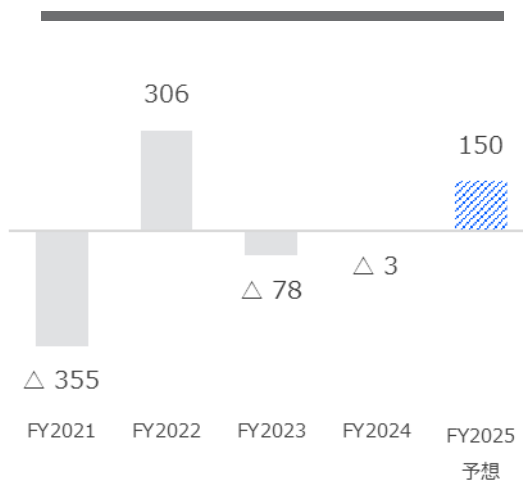
営業利益・損失



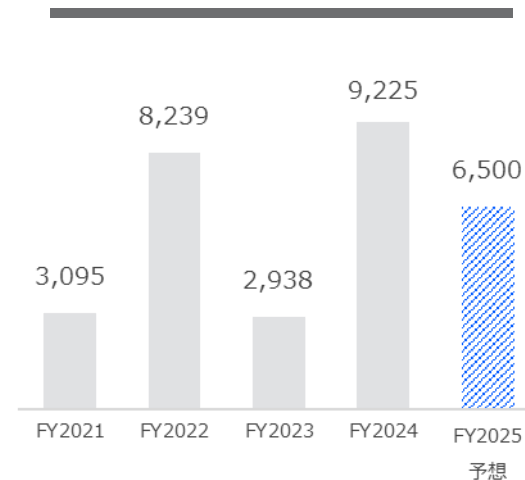
経常利益



親会社株主に帰属する 当期純利益・純損失



受注高 (総合エンジニアリング事業)



将来の見通しに関するご注意事項

本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成、および将来の業績を保証するものではありません。またこれらの情報が、今後予告なしに変更されることがあります。

従いまして、本情報および資料のご利用は、他の方法により入手された情報とも照合・確認し、ご利用者の判断によって行ってくださいますようお願いいたします。

本資料ご利用の結果、生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

＜本資料に関するお問い合わせ先＞
日揮ホールディングス株式会社
戦略企画オフィス 経営企画ユニット
コーポレートコミュニケーショングループ
Tel : 045-682-8026 Fax : 045-682-1112
E-mail: ir@jgc.com